

学校評価は、子どもたちがより良い教育を享受できるよう、その教育活動等の成果を検証し、学校運営の改善と発展を目指すための取組です。

学校評価

三瓶中学校では、次のような目的で学校評価を実施し、保護者や地域住民等から信頼される学校づくりを進めます。
 ・計画→実行→評価→改善のサイクルを確立し、継続的に発展できる体制を整えます。
 保護者アンケートは7月、12月の年2回です。
 ・保護者・地域に対して積極的に結果を公開し、説明責任を果たし、改善への手掛かりを得ます。

令和6年度1学期末学校生活に関するアンケート結果 西予市立三瓶中学校

評価4：あてはまる 評価3：どちらかといえばあてはまる 評価2：どちらかといえばあてはまらない 評価1：あてはまらない

設問	質問内容	グラフ（保護者回答率90%）					肯定的割合	評価・分析・改善策等
		評価4	評価3	評価2	評価1	%		
1	三瓶中学校の生徒は、学校で楽しく、充実した生活を送っている。	教職員	25%	75%	0%	0%	100%	・教職員、生徒、保護者の9割以上が肯定しており、おおむね満足と言える結果です。昨年度よりも生徒の数値が大幅に上がっています。更に一人一人が楽しく充実した生活を送ることができる学校を目指していきます。
		生徒	59%	38%	3%	0%	97%	
		保護者	24%	66%	7%	2%	90%	
2	三瓶中学校の生徒は、日々の授業の学習内容をだいたい理解できている。	教職員	17%	83%	0%	0%	100%	・生徒、保護者ともに否定的な意見も多く、本校の課題の一つと言えます。全国学力・学習状況調査からも同様の課題が見られています。教職員の研修を充実させることで、「分かる、考える、伸びる」授業の実践に努めていきます。
		生徒	38%	48%	13%	1%	86%	
		保護者	10%	64%	26%	0%	74%	
3	三瓶中学校の生徒は、自分から進んで学習に取り組んでいる。	教職員	25%	50%	25%	0%	75%	・全体的に低い評価となっておりますが、昨年度と比較すると、肯定的割合は増えています。受け身ではなく、自ら進んで学習に取り組み、粘り強く課題に取り組む生徒の育成に向けて、生徒が主役となる授業実践を積み重ねていきます。
		生徒	33%	52%	13%	2%	85%	
		保護者	17%	60%	22%	1%	77%	
4	三瓶中学校の教員は、それぞれの生徒のよいところを認め、言葉や態度で伝えている。	教職員	42%	58%	0%	0%	100%	・教職員、生徒、保護者の8割以上が肯定していますが、十分満足できる結果ではありません。一人一人の個性を認め、しっかりと見届けることにより、個に応じた丁寧な対応を心掛けていきます。
		生徒	39%	54%	7%	0%	93%	
		保護者	19%	63%	15%	4%	82%	
5	三瓶中学校の生徒は、校則やスマホなどの学校のルールを守っている。	教職員	33%	42%	25%	0%	75%	・これまでと同様に生徒と教職員・保護者の評価に大きな差があります。生徒の肯定率は100%ですが、大人から見ると守れていないと感じているようです。学校と家庭で連携をしながら、適切なSNS利用について指導していきます。
		生徒	78%	22%	0%	0%	100%	
		保護者	21%	53%	24%	2%	74%	
6	三瓶中学校の生徒は、いじめや差別をしない、許さないという態度で生活できている。	教職員	0%	83%	17%	0%	83%	・昨年度と比較しても肯定的な割合が低くなっており、本校の課題の一つと言えます。いじめや差別は絶対に許されるものではないことを全員で再確認し、いじめをしない、させない、許さない風土を醸成していきます。
		生徒	70%	25%	3%	1%	95%	
		保護者	19%	56%	17%	8%	75%	
7	三瓶中学校の生徒は、あいさつの習慣が身に付いている。	教職員	17%	75%	8%	0%	92%	・教職員の評価が大幅に上がっています。過去の調査と比較しても一番よい状態と言えます。様々な活動の成果が表れています。今後も、生徒主体のあいさつ運動を展開しながら、場に応じた挨拶ができる学校を目指していきます。
		生徒	26%	56%	18%	0%	82%	
		保護者	23%	61%	15%	1%	84%	
8	三瓶中学校の教員は、教え方を工夫し、わかりやすく教えている。	教職員	25%	75%	0%	0%	100%	・教職員、生徒は9割以上が肯定しており、おおむね満足のいく結果と言えます。しかし、誰一人取り残さず学びを保障していくことが求められていますので、現状に満足することなく、常に授業改善に取り組んでいきます。
		生徒	60%	32%	8%	0%	92%	
		保護者	12%	69%	16%	3%	81%	
9	三瓶中学校の教員は、いけないことはいけないと指導している。	教職員	92%	8%	0%	0%	100%	・全体的に高い肯定率ではありますが、否定的な意見があることを見逃してはいけません。まだ十分に指導できていない場面があると認識し、一人一人とじっくり向き合いながら、個に応じた指導を行っていきます。
		生徒	71%	22%	3%	4%	93%	
		保護者	27%	59%	11%	3%	86%	
10	三瓶中学校は、いじめや生徒間のトラブルにきちんと対応している。	教職員	42%	50%	8%	0%	92%	・保護者の評価が低くなっており、保護者には対応が十分ではないと感じている場面があるようです。保護者との信頼関係を構築しながら、一つ一つのことに丁寧に対応していき、いじめやトラブルの早期発見・早期解決に努めていきます。
		生徒	58%	33%	8%	1%	91%	
		保護者	19%	57%	21%	3%	76%	
11	三瓶中学校の部活動は、充実している。	教職員	17%	67%	16%	0%	84%	・保護者の評価が最も低い項目です。生徒の評価とも大きな差があります。部活動については、地域移行も含め、改革期にきています。学校、家庭、地域が対話を重ねながら、よりよい方向性を見つけていく必要があります。
		生徒	63%	26%	7%	4%	89%	
		保護者	12%	47%	27%	14%	59%	
12	三瓶中学校は、学校の様子や教育方針を家庭への連絡（通信、ホームページ、電話連絡、家庭訪問など）によってわかりやすく伝えている。	教職員	67%	33%	0%	0%	100%	・教職員、生徒は、ほぼ全員が肯定しています。保護者の評価も高いのですが、一部にもっと学校の情報がほしいと感じている方がいるようです。今後も保護者のニーズにも応えながら、積極的に学校の情報を発信していきます。
		生徒	69%	30%	1%	0%	99%	
		保護者	42%	47%	6%	5%	89%	

『心豊かで、生き生きと活動する生徒を育てる』を学校目標として、日々の教育活動に取り組んでいます。少子化の波は確実に押し寄せてきており、本校生徒数もついに100人を下回り、99人となりました。少人数ならではのよさを生かし、一人一人の笑顔が輝く学校づくりを目指していきます。昨年度と同様に学校生活に関するアンケートをオンライン上で行い、保護者からの回答率は90%でした。御協力ありがとうございました。

学校評価は、実施して終わりではなく、改善への手掛かりを今後を生かしていくことが重要です。生徒が入れ替わっていますので、単純に昨年度との比較はできませんが、全体的に生徒の評価が昨年度よりもよくなっていました。これまでの継続した取組の成果だと捉えております。ただ、これまでと同様に「自ら進んで学習に取り組む態度」において課題が見られました。生徒が、自ら考え、自ら行動することのできる主体的な学びは、わかる授業を展開するための土台となるものです。教職員が協働しながら、よりよい授業づくりを目指していきます。また、これまで以上に地域との連携が求められています。地域人材、地域資源を発掘し、地域と共にある学校づくりを推進していきます。